

## 第 5 学 年 図 画 工 作 科

### 教科目標

造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てます。

材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにします。

作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にするようにします。

### 学習計画

月	単元・題材名	時数	学 習 活 動
4	よくみて描こう(絵)	4	・鏡をよく見ながら自分の顔を描く。
5	原爆ドームのある風景	8	・風景を見直し、発見した美しさや想いを構図や絵の具の使い方を工夫して絵に表す。
6	(絵・鑑)		
7	動くよ動く絵が動く	9	・いろいろな動く仕組みのおもしろさを生かして、楽しい物語や絵を作る。
9	(作・立・造)		
10	光とかげ(作)	8	・光の当て方を考えながら、楽しいものや美しいものをつくる。
11	曲げてねじって(立・作)	4	・粘土の特性を生かして自分のつくりたいものをつくる。
12	ほって 刷って(絵)	7	・心に感じたこと、心に残ったことをはんの特徴を生かして表す。
1	心広がる場面(絵)	4	・本を読んだり話し合ったりして、心に思いうかんだことや想像したことなどを絵に表す。
2			
3	板を切りぬいて(作)	6	・直線、曲線、思いに合わせて板を切りぬいて、みんなで遊べるものをつくる。
授 業 時 数 の 合 計			5 0 時 間

### 図画工作科の評価は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
関心・意欲・態度	・自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとしているかどうかを見ます。	・ 学習態度 ・ 学習中の応答 ・ 発表内容、発表の様子 ・ 作品 など 総合的に評価します。
発想や構想の能力	・見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたい物の意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしているかどうかを見ます。	
創造的な技能	・表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫しているかどうかを見ます。	
鑑賞の能力	・造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりしているかどうかを見ます。	